

3. 提 案

水と緑 のグループより多摩川の活用が取り
上げられているが、私も一つ付け加える。

現在 高津区 中原区あたりの多摩川沿いは、かなり
市民に開放されているが川崎区では 緑地の一部を除き
すべて工場群の裏であり、一人で歩くのは恐ろしいと感ずる
程 殺風景である。川崎区では多摩川はもっと市民に開放
されるべきと考える。そこで市民が多摩川に行き易くする
ため 諸工場に協力してもらい、堤防・河川敷の整備
は当然の事、御道も建設し、浮島より登戸あたり迄ジョギ
ング等ができるようにしたらどうか。そして青梅市民マラソン
のような形で 川崎市民 多摩川マラソン、或いは全川崎高校
駅伝等が開催されたら素晴らしいと思う。必ずや川崎
のイメージアップにつながると考える。

●提案を実現していくために・・・

○市民にできること・市民がすること

○行政に期待したいこと

企業への協力を取りつける事

○短期的(すぐ)にできること

○長期的に取り組むことが必要なこと

3. 提 案

富士見公園案内図について

川崎区のおいち（私が見たおいち）

川崎区民の大半は戦前は主に東北などから農家の二、三男女は口べらしのために町工場や商店などにきて年期奉公などで働いた。又戦中は徴用工として軍事工場で働き戦後は出稼ぎとして戦後の復興のために働いた人達が多かった。川崎区民は故郷に対しては若い人には解らないぐらい思いを込めています。

区内に県人会というのがあるのも川崎区が一番多い。田舎の林、森、鎮守様などに植えている木、果物の木など季節になると老人会などでよく話にでます。さらばとて自分の家に植える程広い庭のある家は都会にはありません。ですからせめて新しく造る公園に植えてもらいたいおじちゃん、おばちゃん、お孫さんの田舎の木の果物、花など孫に話せる機会をつくってあげたい。

ある年の夏休み

この休みの間に孫たちを連れて、東京の日野市に行った。それは、トンボとセミ、カエル、エビガニなどがこういうところに住んでいるんだ、ということを見せに行っただけだ。

そこへ行くのに丸一日片道1,500円かった。

「わたし、備前の岡山育ち米のなる木はまだ知らぬ」という”どどいつ”がある。

お母さんが何か悪いことをして身ごもって刑務所かなんかで子供を産んだんでしょ。お母さんがずっと刑務所にいるんでその子供は米のなる木はまだ見ない。うちの孫がそうなのでは大変。川崎に住んで米のなる木も知らない、カエルがどういう所にいるのか知らない。「トンボが合体して飛んでいる」と言う。トンボが水の上をけているのを孫が見て何をしているのかと聞いている。それすら見たことがないのです。可哀想です。どんな理屈をこねてみても、川崎で育った子供たちがそういうものを知らずに大きくなってしまいます。その子に何の手引きをしたら良いのですか。

いろいろ教育問題の話はありますが、そういう話はしてくれない。大学の先生などは難しい話はするがそのようなことよりも川崎区の子供たちにトンボはこういう所にいる、セミはこういう所にいる、セミの抜け殻というのはこういうものだとか知らせてやる。テレビでしか見ていない。本物を見ていない。ヘビの抜け殻も見ていない。そんな子供を育てて良いか。子供たちをちゃんとしてあげたい。

お米

よく稲刈りツアーがあります。

ツアーも結構ですが、稲が私たちの口に入る過程を知っていることが大切。身近に田圃があれば稲の苗床～苗～苗植～田圃の草取り～稲の花～稲にいる”いなご”取り～稲刈～稲をほす～脱穀～精米にして米にしてご飯になる過程の日程がわかればママさんはそれに合わせて子供に見せることが出来る。

野菜なども同じです。

木は実のなるもの、特に赤いものは鳥が好みます。

子供の広場

子供の遊びは今日の遊びを明日にもちこさない。今日は今日で又明日は明日で新しい遊びを考えるものですから、特別の器具はいらないのです。どろんこになったら滝に打たれ、噴水で洗えばよいのです。

一人で遊ぶ場所

受験などで疲れたら公園に出かけてキャッチボール用の壁にボールを”ブッケ”て、サッカーゴールにボールを”ブッケ”てバスケットゴールによって疲れとかストレスを解決するにはよいと思います。

草原

草原には小さな虫が季節ごとに出てきます。草刈りしたり、虫に刺されるからといって殺虫剤など使用しない、自然にまかしておいて下さい。

沼地

トンボ、蛙、ドジョウ、エビガニなどが住みやすいヨシ、アシ、ガマノホなど生い茂るようにする。

小川

小川は参考の絵のようにしたい。

滝

滝はテレビで見る程度で滝の下で水遊びなど川崎区の子供は考えも付かないことです。出来たらどんなに喜ぶことか。

噴水

公園には噴水は付き物です。参考図のように子供が楽しんでいる様子がほほえましい。

山

六郷神社に富士山信仰のミニ富士があります。当公園富士見公園ですから、ミニ富士があってもよいと思います。

名前はミニフジ

高さは2010にちなんで $20+10=30\text{m}$

別名 $\overset{\text{サン}}{3}\overset{\text{マキ}}{0}\overset{\text{サン}}{\text{山}}$

丘

川崎区の町は大半が埋め立て地ですから平面地全部と言ってよいと思います。

丘に対しては興味がありません。

低い丘で坂になっています。坂を上り詰めれば頂上に立ち、又降りるわけです。何か風景が少し変わるので公園全体にアクセントがつけます。

(イ) 丘の名前は 松、梅、桜、ハギ。小さな池に丘を造り廻りにアヤメ。

(ロ) ボタン、ハギ、木がない丘。丘に菊いっぱい。紅葉。池の中に丘があり木は柳、桐。

§ 公園は教室のない教育の場

キャッチフレーズ

1. TVもファミコンもない 富士見公園
2. 区民が”つくりあげた”造形の 富士見公園
3. 子供がドラマをつくる 富士見公園
4. 遊びも心もジャンボサイズ 富士見公園
5. 時を越えてよみがえる 富士見公園
6. 浜風が育てる 富士見公園
7. 最高のデートコースの富士見公園
8. 最高デートスポットの富士見公園



セントラルパーク（ニューヨーク）



トンボ池（市川市）



こまざわはらっぱプレーパーク
（世田谷区）